



くしろ「木づな」プロジェクト

[2019年度（令和元年度）事業報告・2020年度（令和2年度）事業計画]

釧路森林資源活用円卓会議

要旨

釧路森林資源活用円卓会議は、2010年度(平成22年度)の発足から2014年度(平成26年度)の5年間で「第1期」、2015年度(平成27年度)以降を「第2期」として、森林・林業・木材産業に関わる方々と歩みつけて発足より11年目を迎えました。

私たちは、川上部門での高性能林業機械等の活用による森林施業の低コスト化、川下部門での地域材を活用した商品開発等による森林資源の需要拡大といった取組を通じ、森林資源の循環利用を目指しております。

また、広大な森林と都市機能を併せ持つ釧路市において、大人から子供まで広く取組への理解を醸成し、活動全体の底上げを図るため、木育イベントをはじめとした森林・林業・木材産業に関する普及啓発活動を実施しております。

2020年度(令和2年度)は、発足より10年を経過した活動の新たな取り組みを模索しながら、釧路地域の森林・林業・木材産業のさらなる発展を目指した活動を行ってまいります。

目次

要旨	2
2019年度(令和元年度)事業報告	3
○課題解決に向けたロードマップ	4
2020年度(令和2年度)事業計画(案)	5

釧路森林資源活用円卓会議について

釧路市は、2005年(平成17年)の3市町合併により、森林面積は約10万ha(全道の市で1位)。人口10万人、森林面積10万haを超えるのは全国で3市のみと、まさに釧路市は「森林都市」(森林率74%)と言えます。

この「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年(H22年).11設置(川上部会2010年(H22年).12、川下部会2011年(H23).2)しました。

これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

2019 年度(令和元年度)事業報告

2019 年度(令和元年度)の活動状況は次のとおりです。

■ 普及啓発活動

消費者理解の醸成 (域内利用の取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・くしろ木づなフェスティバルの開催（概要表No.6）【資料1】 ・各種イベントへの出展（概要表No.1～5,8～9）
域外利用の推進 PR	<ul style="list-style-type: none"> ・「道産木材製品プロモーション事業」への参画 …道外・海外向けプロモーション活動など (道外) 12/10～12/12 WOOD コレクション (モクコレ) 令和元年 東京ビッグサイト（概要表No.7）【資料2】 くしろ木づなショーケース及び釧路関連企業木製品の展示 ※丸善木材(株)、札幌ベニヤ(株)、(株)北都・エステー(株) (海外) 台湾（台北市・台中市） 「台北国際建築建材展」「HOKKAIDO WOOD フェア」における 釧路地域の木製品の展示等

■ 川上部門

担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・「釧路合同企業説明会」に円卓構成企業が出展 ・高校生向け職業紹介イベントへの出展 「進路のミカタ LIVE 未来ビュー 釧路」「じもと×しごと発見フェア」 (概要表No.10.11) ・「北の森づくり専門学院」開校に向けた地域連携の推進への協力
--------	---

■ 川下部門

建築関連での木材利用	<ul style="list-style-type: none"> ・建築学生向け森林・建築セミナーへの協力（北海道森林建築セミナー実行委員会主催） ・市営牧場木造牛舎の設計（2021 年度～2022 年度竣工予定）に向けた検討 ・「木造公共建築物を建てるための地域情報交換会 in 釧路」への協力 (主催：(一社)北海道建築技術協会)
製品開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・製品開発や新たな木材利用の推進【資料3】

■ 市施策関連

森林環境譲与税の導入への対応	<p>森林環境譲与税の基金設置と受け入れ 釧路市における林業・木材産業の課題解決に向けた取組の検討</p>
----------------	---

○課題解決に向けたロードマップ

2018年度(平成30年度)より、円卓会議第2期における展開方向(2015(平成27)～2017(平成29)年度において新たに顕在化した課題を踏まえ、「課題解決に向けたロードマップ」により取組を進めることとして

■第2期の展開方向(2015(平成27)～2017(平成29)年度(2014(H26)一部先行実施))と新たに顕在化した課題

分野	第2期の展開方向	新たに顕在化した課題
全般		・森林環境譲与税の導入への対応
川上	・路網整備モデルの検討 ・シカ対策のコスト削減の検討	・担い手の確保 ・森林資源の齢級構成の平準化 ・活着性に優れ風倒に強いコンテナ苗の導入
川下	・管外の取組との連携をはかる ・外部の視点を導入する ・技術センターがコーディネート機能に重点を移していけるようなしくみをつくる	・建築関連での木材活用底入れ 〔・内外装への限定利用から構造材への積極利用の推進 ・住宅や店舗・事務所建築での木材利用の推進〕 ・製造者やユーザーからの発案による製品開発の推進
普及啓発	・常設展示場などの普及手段を増やす ・森林とのつながりがある活動を実施 ・木育など、様々な切り口でアプローチ	・「なぜ地域材を使用するのか」という消費者理解の醸成 ・カラマツ・トドマツの認知度向上

■課題解決に向けたロードマップ(2018年度(平成30年度)～)

分野	課題	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)～
全体	森林環境譲与税の導入への対応	使途検討 [検討会開催]	予算化	基金の創設・財源の活用
川上	担い手の確保	釧路地域林業・木材産業担い手確保推進協議会と連携 [企業説明会への出展 など]		
	森林資源の齢級構成の平準化	市有林管理の長期的方針の検討		検討報告 一般民有林への普及
	路網整備モデルの検討 コンテナ苗の導入	市有林での導入検討 研修会・現地検討会の開催		市有林での試験導入
川下	建築関連での木材利用	木材利用の実態把握	建築向け地域材流通の拡大検討 市営牧場木造牛舎の設計・検討 民間の木造・CLT建築の提案活動	R3～施工
	製品開発の推進	研究会結成		コンペなどの取組企画 試作・製品化
普及啓発	消費者理解の醸成(域内利用の取組)	大人の木育	×10ヶ月	...
	域外利用の推進PR	モクコレ	中国・韓国～海外へ...	

2020年度(令和2年度)事業計画(案)

2020年度(令和2年度)は次のような活動を実施予定です。

■川上部門

担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保を目的とした説明会への出展 ・北の森づくり専門学院における地域実習への協力【資料4】
森林資源の齢級構成の平準化	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林管理の長期的方針の検討
研修会の実施 コンテナ苗の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・業界内のスキルアップを目的とした研修会の実施 (ハンディGPSの活用方法の実践(GISとの連携)) ・コンテナ苗の市有林での導入の具体的検討

■川下部門

建築関連での木材利用	<ul style="list-style-type: none"> ・市営牧場木造牛舎の設計に向けた検討 (2021年度～2022年度竣工予定) ・非住宅木造建築の推進 …地域材を利用した店舗・オフィスの検討 →JAS 構造材個別実証事業の活用【資料5】
製品開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・くしろ木づなプロジェクトにおける木製品の開発 …商品開発研究会(仮称)の設置【資料6】

■普及啓発活動

消費者理解の醸成 (域内利用の取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種イベントにおける「木づなショーケース」の展示、木工体験等のブース出展等 →2020年度事業イベント等実施スケジュール【資料7】
域外利用の推進 PR	<ul style="list-style-type: none"> ・森林認証取得に向けた検討【資料8】 ・道内外・海外向けプロモーション活動(展示会への出展等)

■市施策関連

森林環境譲与税の導入への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税を財源とした釧路市における林業・木材産業の課題解決に向けた取組の推進 【資料9】
----------------	---